

第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定にあたっての考え方 ～第2期計画の評価と策定の方向性～

1. ケースワークの充実と福祉ニーズの把握

〔第2期計画の成果と課題〕

- 社会福祉協議会が行うケースワークについて、平成26年度からモデル事業として開始された生活困窮者自立支援事業をベースに実践され、潜在的な課題の発見につなげることができた。
- 個別ケースへの対応件数が年々増加し、それに伴いコミュニティソーシャルワークの経験を積み重ねることができた。
- 民生委員・児童委員などの要請に応じて地域の困難ケースへの対応を支援し、要支援者の地域とのつながりづくりや適切な制度へのつながりを推進することができた。
- 地域には潜在的なニーズが数多く存在している。早期に発見されるためには、地域住民による発見、見守りなど相互の支え合いが適切に機能する仕組みづくりと、それに対応する相談対応・支援の充実が必要である。

〔関連事業の実績〕

| 事業名 | 項目 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|---------------|------------------|------------|------------|-------------|-------------|
| 生活困窮者自立相談支援事業 | 継続的支援の実施件数 | 58件 | 87件 | 124件 | 112件 |
| 日常生活自立支援事業 | 年間利用者数 (契約者数) | 132件 | 155件 | 185件 | 166件 |
| 成年後見制度の推進 | 法人後見受任 件数(累計) | 1件 (1件) | 6件 (7件) | 4件 (11件) | 6件 (17件) |

〔第3期計画の方向性・実施事業〕

- 各種相談事業を継続して実施する。地域を基盤としたソーシャルワークの展開を実践するため、身近な相談窓口の設置等について検討するとともに、把握した課題に対応する住民主体の活動と専門機関による支援体制の強化を図る。
⇒「生活困窮者自立相談支援事業」「日常生活自立支援事業」「させば成年後見センター事業」「身近な相談窓口の設置」「地域課題の解決に向けて連携する仕組みづくり(プラットフォーム)」など

2. 地域福祉・ボランティア活動の推進

〔第2期計画の成果と課題〕

- ふれあいいいききサロンをはじめとした地域の主体的活動が各地区で広がりを見せた。地域の交流の場づくりという点でも大きく前進した。
- 黒島地区で実施した地域活性化モデル事業では、関係機関や団体の参画によって設置した「黒島地区保健・医療・福祉連携会議」での話し合いや、島内で介護予防活動を推進する「介護予防推進プロジェクトチーム」の活動が計画的に実践された。また、訪問介

護養成研修終了者によって結成された「黒島ハッピー隊」による、ハッピーカフェ（共生サロン）の開催や見守り訪問活動の実施など、住民主体による福祉活動の充実が図られた。

- ボランティア・市民活動の推進において、ボランティアセンターの周知や各種講座等の実施による新たなボランティアの養成・発掘に取り組むことができた。
- ボランティアに対する活動の場とのマッチングが不十分で、活発な活動展開につなげることができていない。黒島地区でのモデル事業は、その実績をふまえて他地区での展開方法などを検討する必要がある。

〔関連事業の実績〕

| 事業名 | 項目 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|------------------------|---------------|--------|--------|--------|--------|
| ふれあいいきいきサロンの支援・推進 | サロン数 | 45カ所 | 100カ所 | 117カ所 | 163カ所 |
| 地域活性化モデル事業（介護予防の取り組み等） | 連携会議実施（計画策定等） | 3回調査実施 | 2回計画策定 | 4回計画実践 | 4回計画実践 |
| ボランティアセンター運営事業 | 登録個人ボランティア数 | 242人 | 255人 | 287人 | 308人 |
| | 活動依頼件数 | 72件 | 79件 | 99件 | 124件 |

〔第3期計画の方向性・実施事業〕

- 生活支援体制整備事業をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に向けた交流の場づくりは引き続き推進することが必要。既存の取り組みが継続されるための支援の充実と新たな実践活動の推進を図る。また、ボランティア・NPOによる活動が様々な場面において展開されるよう周知やマッチングの強化を進める。
⇒「ふれあいいきいきサロンの支援・推進」「ボランティアセンター運営」「ボランティア活動支援」「コミュニティビジネスに関する研究」 など

3. 地域を基盤としたふくし教育の実践

〔第2期計画の成果と課題〕

- 「佐世保市ふくし教育実践指針」の策定とそれに基づく地域を基盤としたふくし教育の実践を推進することができた。特に、地区福祉推進協議会を中心とした、社会的包摂に向けたふくし教育学習会やプログラムが実施され、ふくし教育を推進する組織としての基盤づくりが進んだ。
- 学校における福祉学習では、従来の疑似体験を中心としたものではなく、「共に生きる心を育む」ためのプログラムを実施し、当事者との交流や子供たちによる調査など内容の充実が図られた。
- ふくし教育の推進による成果は短期間ではなく、中長期で経年的に見ていく必要があり、その方法については引き続き検討が必要である。

〔関連事業の実績〕

| 事業名 | 項目 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----------|-----------------|-------|-------|-------|-------|
| ふくし教育推進事業 | ふくし教育実践地区数 | — | — | 3 地区 | 18 地区 |
| | ふくし教育支援カ所数(学校等) | 12 カ所 | 12 カ所 | 11 カ所 | 10 カ所 |

〔第3期計画の方向性・実施事業〕

- 地区福祉推進協議会による地域を基盤としたふくし教育の実践を引き続き推進するとともに、その実践による孤立を生まない地域づくりや地域福祉の担い手育成を進める。また、実践による成果について、その方法を研究しそれに基づく評価を行う。
⇒「地域を基盤としたふくし教育の実践」「地域福祉への意識啓発」 など

4. 地域福祉を推進する組織の基盤づくり

〔第2期計画の成果と課題〕

- 地域福祉を推進する組織として「地区福祉推進協議会」の位置づけと役割が明確になり、そのために必要な活動内容が整理された。会長連絡会の実施や地区担当職員との連携などにより、各地区の実践活動が徐々に推進されている。
- 市内27の圏域に地区自治協議会が設立され、それぞれの地域の実情に応じた活動が展開されている。地域の各団体と再編・合流が推進されており、その対象となっている福祉推進協議会においても、圏域や活動内容をはじめ、今後の組織のあり方について調整が必要である。

〔関連事業の実績〕

| 事業名 | 項目 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----------------|------------|-------|-------|-------|-------|
| 地区福祉推進協議会活動支援事業 | 構成員研修会参加者数 | 618 人 | 596 人 | 617 人 | 607 人 |

〔第3期計画の方向性・実施事業〕

- 地区自治協議会と福祉推進協議会との再編・合流について、関係機関・団体と十分な協議、検討を行い、これからの小地域の福祉活動を推進する基礎組織の位置づけや役割、圏域、活動内容、支援方法などについての考え方を整理する。
⇒「地区福祉推進協議会等の基盤強化と活動支援」

5. 災害時に備えた取り組みの推進

〔第2期計画の成果と課題〕

- 災害時に備え、平常時から顔の見える関係づくりを推進するため、16の関係機関・団体による「佐世保市災害ボランティアネットワーク連絡協議会」を組織し、定例的な会議や視察研修、災害ボランティアセンター運営訓練など、各関連事業を連携して実践することができた。

- 市民向けに災害ボランティアに関する研修会や講座を開催し、災害への意識啓発を行うとともに、災害ボランティアを養成することができた。
- 災害時避難行動要支援者システムが構築されたが、その有効的な活用や情報の共有等については引き続き検討していく必要がある。

〔関連事業の実績〕

| 事業名 | 項目 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|---------------------|--------------|-----|-----|-----|-----|
| 災害ボランティアネットワーク連絡協議会 | 定期会議 実施回数 | 2回 | 3回 | 2回 | 3回 |

〔第3期計画の方向性・実施事業〕

- 災害に強い地域づくりを推進するため、市民への意識啓発やボランティアの育成、関係機関・団体によるネットワークづくりを継続して実践する。また、システムを活用した要支援者の見守り活動等が効果的に実施されるよう関係機関との連携を図る。
⇒「災害ボランティアネットワーク」「災害ボランティアに関する意識啓発」「災害時避難行動要支援者に関する情報の有効的な運用」 など

【参 考】

第2期地域福祉計画・地域福祉活動取組み評価点一覧〔平成26年度～平成28年度〕

| 項目・計画事業 | 実施主体 | 評価点 | | | | |
|-------------------------|--|------|-----|-----|-----|---|
| | | H26 | H27 | H28 | 前年比 | |
| 個別支援 | 1. 孤独から要支援者を守る取り組み | | | | | |
| | 話し相手ボランティア事業 | 社協 | 3 | 3 | 3 | → |
| | 2. 要支援者を資金的に支援するための取り組み | | | | | |
| | 佐世保市福祉資金貸付事業 | 社協 | 3 | 3 | 3 | → |
| | 長崎県生活福祉資金貸付事業 | 県社協 | 3 | 3 | 3 | → |
| | 生活困窮者自立支援事業 | 市 | 5 | 5 | 5 | → |
| | 3. 要支援者の権利を擁護するための取り組み | | | | | |
| | 日常生活自立支援事業 | 県社協 | 2 | 3 | 4 | ↑ |
| | 高齢者あんしんセンター事業 | 市 | 3 | 3 | 3 | → |
| | 成年後見制度の推進 | 社協 | 2 | 3 | 3 | → |
| | 4. 包括的・継続的な生活支援 | | | | | |
| | 生活支援に係るケースマネジメント | 社協 | 4 | 4 | 4 | → |
| | 民生委員・児童委員支援 | 社協 | 3 | 3 | 3 | → |
| | 5. 命を守る取り組み | | | | | |
| | 緊急時連絡カード配布事業 | 市 | 3 | 3 | 4 | ↑ |
| 救急医療情報キット事業 | 市 | 3 | 3 | 3 | → | |
| 総合評価 | | | B | B | B | → |
| 小地域支援 | 1. 住民相互間の自主的支援活動を通じた相互扶助の実現を支える取り組み | | | | | |
| | 食事サービス支援 | 社協 | 2 | 3 | 3 | → |
| | 2. 要支援者自らの自主的・自立的活動を通じた相互扶助の実現を支える取り組み | | | | | |
| | ふれあい援護ネットワーク(仮称)の推進 | 社協 | 2 | 3 | 3 | → |
| | ふれあいきいきサロンの支援・推進 | 社協 | 4 | 4 | 4 | → |
| 地域共生サロン(地域の居場所)づくり | 社協 | 3 | 3 | 3 | → | |
| 総合評価 | | | C | B | B | → |
| 地域福祉活動 | 1. 実践体制 | | | | | |
| | 福推協の位置付けの再整理及び活動支援 | 社協 | 2 | 2 | 2 | → |
| | 福祉推進協議会の役割 | | | | | |
| | 2. 福祉推進協議会が推進する福祉施策 | | | | | |
| | 福祉推進協議会の福祉的活動例 | 社協 | 4 | 4 | 4 | → |
| 地区福祉活動計画 | | | | | | |
| 3. 地域活性化モデル事業 | 社協 | 4 | 4 | 4 | → | |
| 総合評価 | | | B | B | B | → |
| その他(基盤整備・災害における取組・福祉教育) | 1. 施設基盤整備 | | | | | |
| | 地域福祉の一環として福祉活動拠点施設の整備 | 市 | 3 | 3 | 3 | → |
| | 地域福祉を総合的に推進するための拠点施設の整備 | 社協 | 2 | 3 | 3 | → |
| | 2. 情報基盤整備 | | | | | |
| | 社会資源情報の収集整備(地域福祉の手引き) | 社協 | 3 | 3 | 3 | → |
| | 災害時要援護者・平常時の要支援者の一元的データ管理 | 市 | 2 | 3 | 3 | → |
| | 計画推進の成果の評価等 | 市・社協 | — | 3 | 4 | ↑ |
| | 3. 人材基盤整備 | | | | | |
| | ボランティアセンター運営 | 社協 | 3 | 2 | 3 | ↑ |
| | ボランティア活動支援 | 社協 | 1 | 3 | 3 | → |
| | 福祉人材バンク | 県社協 | 3 | 3 | 3 | → |
| | 4. 災害時における取組 | | | | | |
| | 災害時要援護者支援計画 | 市 | 2 | 3 | 3 | → |
| | 福祉避難所 | 市 | 3 | 3 | 3 | → |
| | 災害ボランティアセンター | 社協 | 3 | 3 | 3 | → |
| | 災害ボランティアネットワーク連絡協議会 | 社協 | 2 | 3 | 3 | → |
| | 5. 福祉教育 | | | | | |
| 出前講座 | 市 | 3 | 3 | 3 | → | |
| 地域福祉講演会 | 社協 | 3 | 3 | 3 | → | |
| 階層別福祉教育(若年層・成人層・高齢層) | 社協 | 3 | 4 | 4 | → | |
| 地域における人材育成 | 社協 | 3 | 3 | 3 | → | |
| 総合評価 | | | C | B | B | → |